



震災復興支援
活動情報

Vol.14

サポセン
かわら版

「サポセンかわら版」では、東日本大震災で被災された方のサポート、お悩みやお困りごとのご相談、心のケアなどの活動を行う市民活動団体・NPO、企業の社会貢献による支援活動などの情報をお届けします。掲載された情報は、8月14日～8月22日に受付けた情報です。詳細については、各団体の連絡先に直接お問い合わせください。

発行：仙台市市民活動サポートセンター 電話：022-212-3010

9月10日(土)



こども

冒険あそび場—せんだいみやぎネットワーク

被災地の子ども遊びを支える

被災した仙台市およびその周辺地域において、子どもがいきいきと存分に遊べる場所をつくることにより、子どもたちの心身の回復と成長を支えるための活動を実施しています。震災直後は、災害子ども支援ネットワークみやぎに参加し、被災した子どもたちへの物資提供などの支援に取り組んできました。

また、指定管理者として管理運営している海岸公園冒険広場は、地震と津波の被害を大きく受け再開の見通しがついていませんが、これまで冒険広場が果たしてきた役割の一端を担い、あそび場を通じて子どものケアをするために、若林区内の4箇所であそび場を出張開催しています。今後、子どもたちが遊ぶ場所でたくさんの地域の「お隣さんたち」とつながりながら、地域に愛されるあそび場づくりをしていきたいです。

●内容／現在仙台市内で開催されているあそび場

◎六郷あそび場：仙台市立六郷小学校校庭の一角

9月18日・25日の日曜日10:00～16:00

◎七郷あそび場：荒井4号公園(七郷児童館隣)

9月17日・24日の土曜日10:00～16:00

◎ニッペリアあそび場：日辺グラウンド仮設住宅

9月15日・22日・29日の木曜日14:00～17:00

◎荒井2号公園あそび場：荒井2号公園

9月14日・21日・28日の水曜日10:00～16:00

●連絡先

代表者 大村 虔一

TEL&FAX:022(264)0667

連絡可能な時間帯 10:00～16:00(火～金)

E-mail: asobo@coral.plala.or.jp

ウェブサイト: <http://www.bouken-asobiba-net.com/>



こども

こどもとあゆむネットワーク

子ども達が早く『日常』にもどるお手伝いをしています

4月1日に立ち上がった、「子ども達が早く『日常』にもどる」お手伝いをするチームです。絵本・児童書をお届けしながらニーズを把握して、保育に必要な物資もお届けしています。また、保育者の方々のケアのため絵本作家の小さなセミナーなども始めました。活動資金・本棚資金などのご寄付を広くお願いしています。

●内容／現在の活動は「本棚プロジェクト」「保育者支援」「保育施設支援」が中心になっています。「本棚プロジェクト」は、全国の皆さんから支援を頂き、学校・保育所・幼稚園などの施設に子どもが開発した強化ダンボール製の本棚を本と一

緒にお届けする活動です。仮設住宅に入った子ども達のため、仮設住宅集会所に木製の本棚と本をお贈りするプロジェクトも始まりました。また最近では、仮設で始まった保育所に、屋根付のテッキが必要とのことで、大学の建築科の先生・学生と協働で製作するプロジェクトも始まりました。

●連絡先

代表者 横田 重俊

TEL:022(273)3788 FAX:022(275)7734(横田や)

担当:横田

ウェブサイト: <http://www.ayumunet.jp>



仙台短篇映画祭実行委員会

ショートピース!仙台短篇映画祭2011「映画はつながっていく」

今回の震災では、関係各所が被害を受けましたが、今年も例年どおり映画祭を開催することで仙台の文化復興に貢献したいという結論に達しました。震災直後は、「映画を見たい」と口にする事すらためられる重苦しい空気でしたが、一方で3月中から仙台を含む東北各地で幾つかの映画館が営業を再開し、避難所等での映画上映をコーディネートする動きが生まれました。映画はその時、各地でどう動いたのか。様々な地域での活動報告をもとに、映画を届けるため今後どのような取り組みが求められるのかを考えます。

●内容/仙台短篇映画祭2011

日時:2011年9月17日(土)~19日(月・祝日)
会場:せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
9月18日(日)16:00~17:30には、シンポジウム「その時、映画はどう動いたか」を開催します。

●連絡先

仙台短篇映画祭実行委員会
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク企画・活動支援室気付
TEL:080(3146)6085 FAX:080(3149)1202(庄司)
E-mail:info@shortpiece.com
ウェブサイト:http://www.shortpiece.com/(仙台短篇映画祭)



お手玉サークルたんぽぽ/「自由」

トロッコフェスティバルで被災地を元気に!

●内容/仙台市内で活動している癒し系アマチュアバンド「自由」とお手玉サークルがコラボレーションして実現したフェスティバル。心が癒されるいい歌と演奏を聴き、お手玉遊びで体を動かし、心身ともに元気づけます。
◎日時:9月19日(月・祝日)13時30分(開場13時)/場所:仙台市市民活動サポートセンター地下1階/入場無料

●連絡先

代表者 菊池 治枝(お手玉サークルたんぽぽ)
TEL&FAX:022(219)8105
連絡可能な時間帯 夕方4時以降



朴澤耳鼻咽喉科・統合医療センターTree of Life

「呼吸を知ろう、感じよう」

●内容/震災後の不安定な気持ちを未来に向かう気持ちに変える呼吸法の実践セミナーを開催。
◎日時:9月24日(土)14時~17時/場所:仙台国際センター/講師:加藤俊朗氏・「朴澤耳鼻咽喉科・統合医療センターTree of Life」院長朴澤孝治氏・詩人谷川俊太郎氏/参加費:前売2000円、当日2500円/定員300名/高校生以下無料

●連絡先

代表者 院長 朴澤 孝治
TEL:022(397)8337(統合医療センターTree of Life)
連絡可能な時間帯 9:30~16:00(水・日曜日を除く)
E-mail:info-tree_of_life@hozawa.jp
ウェブサイト:http://hozawa.jp/tree-of-life/



パナソニック電気労働組合

音楽でつながるみんなの心が一つになる

●内容/被災者に癒しと安らぎを提供するために、日本そして世界で活躍するトッププレイヤー中川賢一氏・神谷未穂氏・浜まゆみ氏・大森智子氏に協力して頂きながら「Human Love Concert」を被災地仙台で無料開催。
◎日時:9月18日(日)14時~/会場:仙台市青年文化センター/定員:500名/申込締切:9月15日(木)

●連絡先

パナソニック電気労働組合 北部営業支部
代表者 支部長 米田 幸司
TEL:022(261)2319
連絡可能な時間帯 9:00~17:30(平日)



地・LOHAS推進会議

宮城発「手のちから」プロジェクト

●内容/歴史や風土、美意識に培われた手仕事による工芸品の復興・復権を目的として、この度チャリティ通販サイトを開設しました。「つくり手」「つかい手」「つなぎ手」の結びつきを大切にし、被災した工芸産地を支援していきます。売上の一部は義援金として寄付いたします。オーダーメイドにも対応いたします。

●連絡先

代表者 近江 美保
TEL:022(223)1195 FAX:022(261)2518
E-mail:kibou@g-lohas.com
ウェブサイト:http://www.kibou-tohoku.net



NPOアスイク

仮設住宅などで、子どもたちの学習を支援します

震災で被災した子どもたちの、学習面のハンデを軽減するために、教員志望の学生が中心となり、避難所での学習サポートを行ってきました。現在は仮設住宅で生活する子どもに対して、避難所支援で培った活動を活かした支援活動を展開しています。一方、避難所で生活していた子どもたちの多くは、仮設住宅ではなく、民間の借り上げ住宅に移行し、孤立化、不可視化する傾向にあります。子どもたち同士が互いに支えあえる関係づくりを目指して、いつでも気軽に立ち寄って勉強できる学習スペースの設置や、保護者同士のネットワーク作りも実施中です。

●内容／◎仮設住宅支援プロジェクト実施。派遣地域(仮設住宅):荒井小学校用地・仙台港背後地6号公園・鶴巻1丁目東公園・国府多賀城駅南地区 ◎お茶とママ友耳ヨリ情報、くらしの情報交換ティータイムの開催 ◎安心して勉強できる環境づくり、個別指導つき学習スペースの設置 ◎「被災地子ども白書」作成、調査を実施。

●連絡先

代表者 大橋 雄介
TEL:090(4554)9988
連絡可能な時間帯:いつでも可(担当:大橋)
E-mail:asuiku0328@gmail.com
ウェブサイト:http://asuiku.sendai-net.com/



一般社団法人ワカツク

若者の復興支援活動をサポートします

ボランティア

●内容／仙台・宮城の大学生を主とする若者のキャリア開発支援を目的とする団体です。震災後は、避難所運営ボランティアの運営アシストや避難者の方のニーズヒヤリング&マッチング、地域内のキーパーソン発見などの若者の復興支援活動をサポートしています。また、震災復興に関わる各種講演会・研修会の他ボランティア団体とのマッチングも行っています。

●連絡先

代表者 渡辺 一馬
TEL:022(721)6180 FAX:022(721)6181
連絡可能な時間帯 9:00~18:00
E-mail:info@wakatsuku.jp
ウェブサイト:http://www.wakatsuku.jp



mama to mama(ママとママをつなぐサイト)

臨時ホームステイ受け入れます

支援

●内容／mama to mamaは、震災・放射能でお困りの子連れ世帯および妊婦さんのいる世帯と受け入れてくれる家庭(臨時ホームステイ)とをつなぐサイトです。mama to mamaには、「少しでも安心して欲しい」という気持ちの皆さんから「どうぞ我が家に」とおっしゃる受け入れの声がたくさん届いています。

ご希望の方はホームページをご覧ください、メールにてご連絡下さい。

●連絡先

代表・管理者 加藤 万由子
E-mail:mamatomamaformama@gmail.com
ウェブサイト:http://www.mamatomama.info/



仙臺すずめ踊り連盟

踊りのエネルギーを復興のエネルギーへ

文化芸術

●内容／仙臺すずめ踊り連盟では、「すずめの家族プロジェクト」で、被災地への支援物資の寄贈や被災家屋の撤去支援、復興支援募金などを行ってきました。また、私たちすずめ踊りを受取るエネルギーで仙台を元気づけ、復興のエネルギーとしてお役に立つことを願って仙臺すずめ踊りを通した復興支援活動を行っています。

●連絡先

代表者 上野 隆士
TEL:090(7939)7352 FAX:022(365)3235
連絡可能な時間帯 いつでも可(担当:佐藤 文彦)
E-mail:suren_kanzikai@yahoo.co.jp
ウェブサイト:http://sendai-suren.jp



SAS仙台アロハソエティ

アロハの心で「心の癒し」を応援します

文化芸術

●内容／被災者の方を癒し、ボランティア、チャリティ募金をして、フラを愛する人々と共に集い元気を集め、心を癒す時間を持つ会を開催します。ここでは、例えばリボンレイ、アートフラワーのカルチャーワークショップやフラを踊るアロハフェスタを行い、心にダメージを受けた人々に心を癒すフラを披露します。

◎日時:9月26日(月)

会場:仙台市市民活動サポートセンター

●連絡先

代表者 坂下 淑子
TEL&FAX:022(221)7434
E-mail:took-hula@ybb.ne.jp



仙台弁護士会

地震津波等による震災関係無料法律相談を実施しています

仙台弁護士会では、法律相談センターを宮城県内に6カ所設置して法律相談業務を行っています。この度の震災で「地震や津波で住宅ローンだけが残ってしまった」といった問題を救済するため、「私的整理に関するガイドライン」による債務整理が8月22日から開始されました。これを受け仙台市、石巻市、気仙沼市、山元町にて『個人債務者の私的整理に関するガイドライン説明会』を開催し、いわゆる「二重債務問題」への対応について皆様に関わりやすく説明いたしました。被災した宮城県民に対する法的な支援を目的に無料電話相談も実施しています。「東日本大震災仙台電話相談」0120(216)151(フリーダイヤル)

●内容／震災関係無料面談相談も仙台市弁護士会館、石巻法律相談センター、古川法律相談センター、登米法律相談センター、県南法律相談センター、気仙沼法律相談センターにて行っています。住宅に関する「専門家相談」や出張無料法律相談なども開催しておりますのでお気軽にご相談ください。

●連絡先

代表者 会長 森山 博
 TEL:022(223)1001 (代表電話) FAX:022(261)5945
 法律相談受付時間 10:00~15:00(土・日・祝日は除く)
 法律相談に関するお問い合わせ 10:00~17:00(土・日・祝日は除く)
 ウェブサイト: <http://www.senben.org>



3がつ11にちをわすれないためにセンター

「わすれんTV311」 インターネット番組配信中

●内容／市民、専門家等が協働して、一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動を考えるインターネット番組を配信しています。9月18日(日)14:00~15:00は、支援の始まりとこれからの課題について語り合う「支援のかたち～生放送サポセンかわら版～」を放送します。今回のテーマは、「シニアによる支援活動」です。

●連絡先

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
 TEL:022(713)4483 FAX:022(713)4482
 E-mail: wasuren@smt.city.sendai.jp
 ウェブサイト: <http://recorder311.smt.jp/>



NPO法人地域ケア研究所

認知症の方も誰もが地域で 住み続けられる地域づくりのお手伝い

●内容／様々な障害や認知症を持っている人に地域における適切なケア・サービスを提供するための調査研究及び研修活動を行って、障害や認知症に対する理解を深めるための普及啓発活動を行っています。この度の震災では、調査研究の他、支援物資や認知症の人の支援ガイドブックを配布して、地域福祉の復興支援活動を行っています。

●連絡先

代表者 達田 隆子
 TEL:022(349)8105 FAX:022(289)8665
 E-mail: libre@onyx.ocn.ne.jp

仙台市市民活動サポートセンターは、市民活動団体・NPO等の復興支援・まちづくり支援の一環として、9月30日(金)まで無料で貸室をご利用いただけます。

サポセンかわら版をご覧くださいありがとうございます。みなさまのご感想をお待ちしております。

発行：仙台市市民活動サポートセンター
 〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
 TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042
 ウェブサイト: <http://www.sapo-sen.jp>
 E-mail: sendai@sapo-sen.jp

発行日：2011年9月10日
 編集：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター
 編集人：小松州子 菅野祥子 太田貴 葛西淳子 真壁さおり
 取材：市民ライターグループ「おかしプラス」
 デザイン：氏家朗

